

クラス通信

麻生本校・円山校・札幌駅前校

クラスユニック高校部

令和3年9月14日発行

保護者の皆さま

理事長・校長 福島新四郎

この「クラス通信」を通じてクラスユニックとご家庭との連携を密にし、お子様の受験準備の一助となるようお願い、発行をしています。生徒の皆さんの成功を祈りつつ、時には辛口の内容もあるかとは存知ますが、意のあるところをお汲み取りいただき、とにかく「合格」の二文字を目指して指導します。ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

高3生の皆さんへ: 来年の「共通テスト」は今年一月に行われたものについて、第二回目となります。皆さんは来年一月ほとんどの人がこの「共通テスト」を受験することになりますので、今月27日から始まる「大学入学共通テスト出願」に合わせて、今年一月実施の第一回「共通テスト」結果の総括内容を載せました。来年受験するための学習の参考にして下さい。また高1,2生の皆さんも大学受験を目指す際の最初の試験ともいえるこの「共通テスト」が一体どのような内容と形式で各科目出題されるのか今からは是非関心をもってご覧下さい。

<大進研発行「入試の手引き」より一部引用>

文責:情報部 高縁 博

第一回「大学入学共通テスト」結果を踏まえ、科目別変更と傾向

教科		問題形式	内容分析・傾向
国語		大問4題	<ul style="list-style-type: none">◎ 論説・文学・古文・漢文で4題◎ 実用的な文章はなかった。◎ 現代文の最終の設問以外は新傾向はなかった。◎ 古文は試行テストと同じ設問構成であった。◎ 漢文は「漢詩」と「散文」の2つの文章が提示された。
数学	数ⅠA	大問5題	<ul style="list-style-type: none">◎ 「数と式」「図形と計量」「2次関数」「場合の数と確率」「整数・図形の性質」で5題◎ (必答問題) 選択肢の形式が減少した。◎ (選択問題) 穴埋めで課題・目的に到達させる出題あり。
	数ⅡB	大問5題	<ul style="list-style-type: none">◎ 「三角関数」「指数・対数関数」「微分・積分」「確立と統計」「数列」「ベクトル」で5題◎ (必答問題) で①選択肢形式が増加した。②具体的な考察を一般的な内容に昇華させる類の問題があった。③簡単な計算をさせ、複雑な問いを解決させるように誘導する出題あり。
英語	リーディング	大問6題	<ul style="list-style-type: none">◎ 実用的な英文(「携帯メール」「webサイト」「学校新聞」「eメール」等)の読解問題が出た。◎ 単語数が4500から5400語に増えた。◎ 文章中の異なって離れた個所で述べられた内容から総合的に判断して正解を選ぶ形が増加。(思考力・判断力を問う)◎ モノログタイプ・対話文等短文の設問があった。
	リスニング	大問6題	<ul style="list-style-type: none">◎ 1回読みと2回読みが混合だったが、試行問題に比べて2回読みの出題が減った。

理科	理科① 基礎理科	物理基礎→大問 3 題 化学基礎→大問 2 題 生物基礎→大問 3 題 地学基礎→大問 3 題	◎ 理科①・理科②を通じて (1) 思考力を問う、実験・観察や探究活動、日常生活を扱った問題	◎ 物理基礎では前の問題に正答しなければ次を正答にしない「連動型」があった。 ◎ 生物基礎でも不足ある選択肢に部分点がつく問題があった。
	理科② 専門理科	物理→大問 4 題 化学→大問 5 題 生物→大問 6 題 地学→大問 5 題	(2) 会話文を利用した問題 (3) 計算問題等が出た。	◎ 生物・地学はセンターより易化。 ◎ 生物で過不足なく含むものを選ぶ問題で、不足のある選択肢にも部分点を与える問題があった。 ◎ 物理でも「連動型」があった。
地歴		世史 B→大問 5 題 日史 B→大問 6 題 地理 B→大問 5 題	◎ 地歴の 3 科目ともに、資料・文章の読解力を問う問題があった。(特に地理 B)	
公民		現社→大問 5 題 倫理→大問 4 題 政経→大問 4 題 倫政→大問 7 題	◎ 現社では、制度や政策の本質を問う設問があった。 ◎ 倫理では、倫理という科目の中での幅広い分野の知識や資料を読み解く力を問う設問が出た。 ◎ 政経では、発表用資料のノート提示や長い設問文で政治や経済や国際問題について問われた。	

高 1・2 年生の今後の学習アドバイス

文責：円山校井尾 敦



定期試験が終わり、成績評定が出る頃かと思います。夏休み期間にしっかり計画的な学習を続けた場合は結果は当然出ることでしょう。「しっかり」というのは、**計画性を持ち、時間を意識して、毎回自身が行ったことを記録し、翌日に向けて工夫する頭を持つこと**を言います。上達の秘訣はここにしかありません。

☆「self-control-note」の勧め

クラスの浪人生は日々の学習を顧みるために「self-control-note」というものを使っています。

これは毎日の自分の学習を記録するもので、そのためには週単位、月単位に学習計画を記入しています。

「健康チェック」や「スポーツのトレーニングチェック」と同じくこのノートがまさに計画的日々の学習実践チェックとなるわけです。明日からでも「やってみたい」という生徒は是非積極的に申し出て下さい。

☆高 1・2 年生の東進生、9 月から「次年度に向けてのカリキュラム」検討

1 人 1 人にまず自分で考えてもらうことから始めますが（自分の意志の確認）勿論アドバイス致します。

ポイント 1、受験日から逆算した日程で何をどこまで行うのか

ポイント 2、難関大志望者は高 3 年生の 6 月までには入試の出題範囲を終了が目標

以上のポイントを踏まえて、どの科目をいつまでに終えるのかを十分考えて、保護者の皆様とご相談の上、10 月下旬までには十分検討したカリキュラムのもと次年度のスタートを切れるようにしたいと思います。

<9 月・10 月の予定>は右下の「QRコード」から HP 上でご覧下さい。

緊急時連絡はラインでお知らせ致します。



麻生本校 ☎011-716-7162 札幌駅前校 ☎011-299-6030

円山校 ☎011-613-7755

麻生本校 高校部



札幌駅前校 高校部



円山校 高校部

